

さいたま市民医療センターにて骨折の治療で入院歴がある方へ

当院では多剤併用状態（ポリファーマシー）に対する処方ならびに減薬提案を医師・薬剤師が中心となった多職種連携チームの活動として行っています。ポリファーマシーによって、高齢者の転倒や骨折のリスクが高まるなどの危険性が指摘されており、近年高齢者に対する取り組みとしてポリファーマシーは注目されています。本邦でもポリファーマシーに関するガイドラインが2015年に作成され、当院でも多職種での取り組みが2020年から始まりました。この研究によってポリファーマシーの実態を調査し、地域でのポリファーマシーの現状を知るきっかけとなります。

【研究課題】

高齢者におけるポリファーマシーの実態に関する後ろ向きコホート研究

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 さいたま市民医療センター 内科
研究責任者 吉野雄大・診療部・医長
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

なし

【研究期間】

2027年3月31日まで

【対象となる方】

2015年1月1日～2024年12月31日の間に、当院整形外科に脆弱性骨折で入院歴のある当時75歳以上のすべての方

※脆弱性骨折とは：軽微な外力によって発生した非外傷性骨折

主に椎体骨折、大腿骨折近位部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折、肋骨骨折、下腿骨骨折、骨盤骨折（恥坐骨骨折、仙骨骨折など）が含まれます。

【研究の意義】

ポリファーマシーの現状を知ることによって今後の取り組み方法を見直すきっかけとしたり、よりリスクの高い介入対象に絞った効率のよい活動にしていくなど、ガイドラインが作成されて10年が経過し、より効果的な活動を目指します。

【研究の目的】

ガイドライン作成後10年経過し、ポリファーマシーの実態を改めて把握すること

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療がカルテに記録されている骨折部位や骨折の受傷機転、併存症、受診医療機関の

データ、常用薬数（睡眠薬などを含む）を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等（本研究の内容と揃えてください）は、解析する前に氏名・住所・生年月日等（本研究の内容と揃えてください）の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院において管理責任者：吉野雄大が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけた USB メモリー、および鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2026年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。
尚、あなたへの謝金はございません。

2025年4月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 内科

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011